



明日使えるICT活用術

1人1台端末は便利だけど、「タイピングの遅い子は時間がかかってしまう」「そもそも低学年はタイピング無理」「ローマ字覚えてない子はどうしよう」と、使いこなすには基本的なスキルが要求されます。それでは文字入力の指導はどうしましょう？というのが今回のテーマです。



タイピングは必須スキルのひとつ

小学1年生の書写では、はじめに鉛筆の握り方や姿勢を指導します。どんな道具にも基本スキルが存在します。パソコンも同じで、必要となるスキルがあります。スマホやタブレットPCの普及でタッチパネルが当たり前になり、フリック入力など様々な入力方法があります。しかし、しっかり使いこなすには、タイピングスキルは必須です。そして、タイピング習得のためにはローマ字をマスターしておく必要があります。

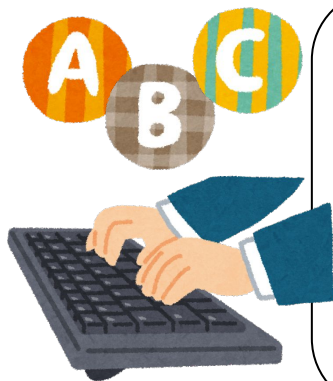
ローマ字指導①

小学3年生の国語ではじめて登場します。端末の活用で触れる機会が多くなれば習得は早まります。

覚えてからではなく、**使いながら覚える**方が近道です。

ローマ字指導②

小学校高学年や中学生でローマ字をマスターしていないときは、タイピング用ローマ字表をもたせるとよいです。こちらも使いながら覚えるのがよいです。**タイピング用ローマ字表**は、無料で使えるものがネットで提供されています。検索してみてください。「ギガっど！みやこんじょ」にもご紹介しています。



タイピング指導

大人でも我流タイピングが少なくありませんが、10本指を使った正しいタイピングをマスターする方がよいです。正確で速いタイピングは、仕事能率に直結します。

小学生なら「キーボー島アドベンチャー(無料)」がおすすめです。ほかにも「インターネットでタイピング練習 e-typing(無料)」などがあります。ちょっとしたすきま時間にどんどん取り組ませましょう。また、**指のホームポジションを教える**ことはとても大切です。YouTubeなどに教材となる動画があります。へんな癖がつく前に見せておくとよいです。

小学1・2年生はどうする？

市が採用したChromebookはタブレットモードに切り替えることで、音声入力や手書き入力が簡単にできます。下学年機はキーボードの脱着で、上学年機はモニターを倒したり戻したりすることで、モード切替ができます。

ドキュメントの音声入力の利用

Googleの文書作成Webアプリ「ドキュメント」には、音声入力が標準装備されています。議事録を作るレベルの精度で聞き取って文字にしてくれます。

「ツール」→「音声入力」または、[Ctrl]+[↑]+[s]で起動します。多言語に対応していて、英語の学習にも使えます。

※タイピング指導関連については、「ギガっど！みやこんじょ」のリンク集でご紹介しています。